

後継者不在の中小企業支援

# 5地銀ファンドに出資

九州

## 中小機構と共同、計48億円

西日本シティ銀行(福岡市)は二十九日、肥後銀行(熊本県)、十八銀行(長崎市)、鹿児島銀行(鹿児島市)、筑邦銀行(福岡県久留米市)の地元四銀行と、中小企業基盤整備機構と共同で、後継者問題を抱えた九州の中小企業の事業継続を支援する地域ファンドに総額四十八億円を出資する、と発表した。

西日本シティ銀行(福岡市)は二十九日、肥後銀行(熊本県)、十八銀行(長崎市)、鹿児島銀行(鹿児島市)、筑邦銀行(福岡県久留米市)の地元四銀行と、中小企業基盤整備機構と共同で、後継者問題を抱えた九州の中小企業の事業継続を支援する地域ファンドに総額四十八億円を出資する、と発表した。

「ファンド」(仮称)。中小企業展開が困難な九州の中小企業。経営権をファンドが取得し、経営陣の派遣やM&A(企業の合併・買収)などによる事業継続を支援する。十年間で、純資産三億一五億円の中小企業十社程度の支援を見込んでいます。銀行にとつて、金融支援で解決できない後継者問題は「銀行単独では、積極的な手伝いがしにくかった」(西日本シティ銀行)分野。地域事情に通じた

併・買収)などによる事業継続を支援する。十年間で、純資産三億一五億円の中小企業十社程度の支援を見込んでいます。銀行にとつて、金融支援で解決できない後継者問題は「銀行単独では、積極的な手伝いがしにくかった」(西日本シティ銀行)分野。地域事情に通じた

ファンド運営会社との連携で、M&Aノウハウを蓄積する狙いもある。

森社長は「九州の中小企業オーナーはM&Aな人も多いが、イメージをどうなじみがなく、ファンドを変えたい」と話している。

行別の出資額は非公認。

今年5月に設立。後継者不在などで将来の事業継続が困難な中小企業の株式の過半数を取得し、社内外から経営トップを任せられる人材を探す。新経営者の下、企業価値を上げたうえで、新たなスポンサーへの株式譲渡やM&A(企業の合併・買収)などによって投資資金を回収する。ファンドの存続期間は10年。中小機構が事業化した「事業継続ファンド」の仕組みを活用した。全国3例目だが、地域特化型のファンドは初。

【桐山友一】

## 中小企業の継承支援

### 地場特化のファンド設立

福岡市の投資会社、ドゥッジファンド」を設立する

福岡市の投資会社、ドゥッジファンド」を設立する。ガン・インベストメンツ(DI)は29日、後継者難に悩む九州・山口・沖縄の中小企業の事業継承を支援する「九州プリ

ツ(DI)は29日、後継者難に悩む九州・山口・沖縄の中小企業の事業継承を支援する「九州プリ

イ▽鹿児島▽十八▽筑邦▽肥後の地場銀行5行とDIが出資する。九州で県境を超えて地銀が共同でファンドに出資するケースは珍しいという。銀

読売新聞

# 後継者に悩む九州企業支援

後継者問題に悩む九州の中小企業支援を目的に、鹿児島銀行（鹿児島市）など地場の地銀五行と中小企業基盤整備機構が出資するファンド「九州ブリッジファンド」（仮称）が五月、設立される。出資する西日本シティ銀行（福岡市）などが二十九日発表した。同ファンドを設立、管理

## 銀地銀 5 創設 鹿銀など ファン

## 雇用や技術継承に貢献

運営するのは投資会社の半分を同機構、残りを五行ドীগン・インベストメントとDIIが出資する。ドীগン・インベストメント（福岡市、DII）で、出資する銀行は鹿児島、西日本シティのほか肥後（熊本）市、十八（長崎市）、筑邦（久留米市）の各行。ファンド総額四十八億円のうち

営者から株式を得て一時的に経営権を取得し、後継者育成や新たな事業展開などを支援する。鹿銀営業支援部は「後継者がいないために廃業すれば、雇用や技術継承の面で地域にとって損失が大きい。地域貢献の意味もあって参加した」としている。

## 中小の後継者を育成

### ドীগン支援ファンド設立へ

地場独立系投資会社、ドীগン・アドバイザーズ（福岡市）は29日、後継者問題に悩む中小企業の事業承継を支援するファンドを五月に設立すると発表した。「九州事業継続ブリッ

が投資し、西日本シティ、肥後、鹿児島、十八、筑邦の地場5銀行が残りを出す。営業地盤が異なる複数の銀行が、同じファンドに共同出資するのは珍しいという。働いた技術やノウハウを持ちながら、後継者不在などで事業継続が困難になっている企業に投資する。人材を派遣して経営体制を再構築し、社内で後継者を育てたり、社外から経営者を招くなどして、存続を図る。ファンドには、解散した産業再生機構の元メンバー3人も参加する。ドীগンの森大介社長は「短期的な利益を追うのではなく、九州のために汗を流すファンドにする」としている。

# 事業承継の支援で ファンドに24億円

中小機構

中小企業基盤整備機構 企業の事業承継支援を自  
は二十九日、九州の中小 的とした投資ファンドに

二十四億円を出資すると  
発表した。中小機構が事  
業承継目的のファンドに  
出資するのは三件目。後  
継者の不在などで事業  
継続が難しい企業を支援  
する。  
同ファンドは事業承継  
問題を抱え、安定したキ  
ヤッシュフローが見込め  
る九州企業に投資する。  
後継者がいない場合に経  
営者を外部から招へいす  
るなど経営支援もする。

## 十八銀など九州5地銀

# 事業継続ファンド設立へ

## 後継者不在の企業支援

福岡市の投資銀行会社「カン・アドバイザーズ(森大介社長)」は二十  
九日、十八銀行(本店長崎市)など九州の地銀五行が出資し、地場中小企  
業を対象とする事業継続ファンド「九州ブリッジファンド」(仮称)を五  
月をめどに設立する、と発表した。

同ファンドは、後継者不在などの手法で問題解決を二分を同機構が、残り  
不在で存続が困難な企業に支援する。中小企業基盤 同社のファンド運営子会  
などを対象に、株式取得 整備機構のスキームを活 社と五行が出資。他の出  
で経営権を一時把握する一用し、総額四十八億円の「資銀行は鹿児島、筑邦

西日本シティ、肥後の各  
行。  
十八銀行は「後継者問

問題は県内でも深刻化しつつあると判断したとしてお  
つあり、ファンド設立が、今後、同ファンドの  
地元企業の支援につなぐ活用を進めていく考え。

熊本日日新聞

肥後銀行

# 地場企業の継承支援

## ファンドに5億円出資

肥後銀行(熊本市)は  
二十九日、後継者確保に  
悩む企業を支援する地域  
特化型ファンド「九州ブ  
リッジファンド」(仮称)  
に、西日本シティ銀行(福  
岡市)などと共同出資す  
るを発表した。事業承継  
の不安を払しょくし取引  
先の安定を狙う。

ファンドは、福岡市の  
投資会社「カン・イン  
ベストメント」が五月に総  
額四十八億円で設立。肥  
後、西日本シティ、十八  
(長崎市)、筑邦(久留  
米市)、鹿児島(鹿児島  
市)の五行と中小企業基  
盤整備機構(東京都港  
区)、ドーカン社が出資  
する。肥後は五億円を出  
す。

は選ばない。投資先の株  
式の過半数を取得。経営  
権を得て内部登用を基本  
にしつつ外部起用を含め  
て後継者を確保する。同  
時に経営改善や販路拡  
大も支援、MBO(経営  
陣による自社買収)など  
で取得株式を戻す仕組  
み。

福岡市で会見したド  
ーカン社の森大介社長は  
「熊本市出身は「後継  
者不足による企業の廃業  
が全国的に進んでおり  
九州も例外ではない。長  
期的な事業の継承を支  
援したい」。肥後銀行も  
「県内企業の問題解決  
を支援したい」と話して  
いる。  
(辻尚宏、中原功一朗)

ファンドの投資期間は  
最長六年。純資産三一五  
億円の九州・山口、沖縄  
の中小企業が対象で業種

朝日新聞

■事業承継助けるファンド

西日本シティ銀行(福岡市)は、九州の4地銀と共同で、九州の中小企業の後継者づくりを助けるファンドを5月に設立する。独立行政法人・中小企業基盤整備機構の制度を使い、地銀では全国初の試みという。技術や販売網を持ちながら後継者難で廃業のおそれがある企業を支援先に選定。過半出資して経営権を握り、後継者を育てたうえで3~5年をめどに後継者や親族らに経営権を譲る。

地銀5行 事業承継ファンド出資

ドーガン・アドバイザーズ

48億円で立ち上げ

企業の再生支援などを手掛けるドーガン・アドバイザーズ(福岡市、森)は二十九日、中小企業を対象に、事業

承継を支援するファンドを五月に立ち上げると発表した。ファンド総額は四十八億円。西日本シティ銀行など九州の地銀五行と中小企業基盤整備機構が出資する。地銀が出

資する事業承継ファンドは全国初という。

立ち上げるのは「九州事業承継ブリッジ投資事業有限責任組合(愛称「九州ブリッジファンド」)」。中小機構の「がんばれ、中小企業ファンド」の仕組みを活用する。

中小機構が二十四億円、ドーガンの全額出資子会社であるドーガン・インベストメンツ(福岡市)が五千万円出資。残りを西シ銀と鹿児島銀行、十八銀行、筑邦銀行、肥後銀行の五行が分担する。

運営にはドーガンのスタッフのほか今月解散した産業再生機構で宮崎交通などの再建に携わったメンバー三人が参画。今後十年で十社程度への投資を予定している。